

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小谷村エコツーリズム推進事業
事業主体 (連絡先)	おたり自然学校 070-4284-4364
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード事業
総事業費	1,304,660円 (うち支援金:1,012,000円)

事業内容

小谷村地域ガイド養成講座開講

外部講師をお招きして地域の自然等の魅力を再発見するための講座、すでに地域資源を活用して集客に成功している先行事例の視察を行った。

- ①星空観察の楽しみ方・伝え方 ②きのこ狩りの楽しみ方
- ③冬の植物観察の楽しみ方 ④山のめぐみを活かした食堂の視察 (県外)

里山整備活動

おたり自然学校の夏季の拠点である「石坂森林探検村」周辺で、訪れた方が安全に活動するための整備活動等を行った。

里山を活用した体験プログラムの開発・体験ツアー

里山を活用して交流人口を増やすための、体験プログラムの開発、体験ツアーを開催した。



【講座風景】

【目標・ねらい】

- ①講座を通して地域住民が地域の魅力を再発見する。
- ②安全に活動できる里山の体験フィールドを確保する
- ③観光客増につながる体験プログラムを開発する。

事業効果

※地域活性化のための目標・おたり自然学校ではのとうおたり自然学校、目標年

小谷村地域ガイド養成講座開講 参加者 35名

⇒講座を通して老若男女問わず地域住民が共に学び・意見を交わし、活発な交流ができた。

里山整備活動

藪の刈り払い、支障木の伐採などを行い安全な体験フィールドを作り、たくさんの方にご利用いただくことができた。

里山を活用した体験プログラムの開発・体験ツアー

上記整備活動を行ったフィールドを活かしたプログラム開発、体験ツアーを行った。目標 350名に対して、712名の方にご参加いただき大盛況となった。

- ・山菜狩り体験 ・里山サイクリング ・きのこ狩り体験
- ・果実狩り体験などを開発し実施した。

※自己評価【B】

【理由】

講座の企画運営が前年に比べうまくできず大きな反省が残った。逆に、拠点を活用したプログラムを多数開発し、宿泊施設と連携を図ったことで目標の倍以上の集客に成功した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

小谷村に今以上に観光客にお越しいただくためには、今以上に魅力があり質の高い体験プログラムと、宿泊施設等と連携して情報発信を強化する必要がある。今年度の事業を通して、大きな可能性を感じることができた。次年度以降も、プログラム開発、ガイド養成、情報発信の強化を重点に活動を展開していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある